

あなたはどのようなフィラリア予防の方法を選択されますか？

近年 さまざまなフィラリア予防の方法が開発されてきています。皆様にそれぞれの方法の特徴を一覧にしてお示しいたしますので、より適すると思われる方法をご検討下さい。

投与方法	代表的な薬	長所	短所	こんな方に適しています。
内服薬	オリジナル薬 カルドメックチュアブル ミルベマイシン A など	歴史が長く、信頼性が高い。 回虫なども同時に駆虫できる。 飲ませやすいように美味しくしてある。	ジェネリックに比べ、値段がやや高い。	新しい方法より、伝統的な方法が安心だと思う方
	ジェネリック薬 アザバスカ パナメクチンなど	値段が安い	回虫などの駆虫効果がない。	なるべく安く予防をしたいという方
	オールインワンの内服薬 ネクスガードスペクトラなど	フィラリア予防と同時にノミ・ダニ・消化管内寄生虫の予防・駆虫もできる。	フィラリア予防薬の中では最も高価である。	フィラリア予防、消化管内寄生虫駆除、ノミ・ダニ予防をいっしょに済ませてしまいたいという方 できるだけ最新の予防法をしたいという方
注射薬	プロハート 12	1 回の注射で 1 年間の予防効果がある。 きちんと続ければ、シーズン初めの血液検査が必要ない。	他の注射(ワクチンなど)と同時投与は好ましくない。	投薬が面倒、忘れてしまう、動物が飲むのを嫌がるという方 動物が血液検査を嫌がる、血液検査をできればしたくないという方
外用薬	レボリューションなど	フィラリア予防と同時にノミ・ダニ予防・駆虫もできる。	内服、注射ほどの確実性が少ない	内服、注射は嫌だという方 フィラリア予防とノミ・ダニ予防をいっしょに済ませてしまいたい方

但し**年齢**や**体重**などにより選択できない方法もありますので、詳しいことは かかりつけの動物病院でご相談下さい。

※近年ジェネリック薬にも消化管内寄生虫に効果があるものも出ています。

